

済生会千里病院 スケジュール

※開催スケジュールは変更になる場合があります。予めご了承ください。



■大阪府AED・BLS講習会

【開催場所】済生会千里病院東館3階講堂

平成23年7月13日（水）、8月3日（水）、9月14日（水）、10月12日（水）、
11月9日（水）、12月14日（水）9:00 ～ 13:00 開催※予定

■肝臓病消化器病教室

平成23年8月、10月、12月 開催※予定

8月8日（月）「採血データの読み方について」です。

日程、講師等が決まり次第、ホームページ、院内掲示板等でお知らせします。

■平成23年度登録医会秋季研修会並びに学術講演会

平成23年9月17日(土) 開催※予定

■糖尿病教室（13:00～）

平成23年7月 4日(月) 開催 ※予定

平成23年10月 3日(月) 開催 ※予定

平成23年8月 1日(月) 開催 ※予定

平成23年11月 7日(月) 開催 ※予定

平成23年9月 5日(月) 開催 ※予定

平成23年12月 5日(月) 開催 ※予定

■セカンドオピニオンについて

他の病院で治療を受けられている方が、当院の医師に意見を聞きたいというご希望に応える為に、セカンドオピニオン外来を行っております。

【お問い合わせ】
1階総合受付カウンター（医事課）

■患者さんへのお願い

- 療養環境向上の為、敷地内禁煙となっておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
- 携帯電話のご利用は「携帯電話エリア」にてお願いします。なお職員が使用しております携帯電話（赤色ストラップ付）は、一般の携帯電話とは異なるものです。

済生会千里病院 広報誌

はなみずき

第9号

(平成23年7月号)



緑の樹木が光り輝く季節は短く、もう梅雨に入りました。そして東日本大震災から3ヶ月が過ぎました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

当院は震災当日災害医療派遣チーム（DMAT）を立ち上げ、岩手県にて救助活動を行いました。現在も厚労省、大阪府さらに済生会本部と連携をとりながら被災地への医療チームの派遣を続けています。

この5月30日は済生会創立100周年の日でした。済生会は明治44年、明治天皇が時の内閣総理大臣桂太郎を召されて「無告の窮民に施薬救療し、済生の道を弘めるように」というご趣旨の「済生勅語」とともに、その基金としてお手元金150万円を下賜されたことに始まります。明治神宮記念会館で行われた創立100周年記念式典で、天皇皇后両陛下から「済生会の各地の病院からいち早く医療関係者が被災地に赴き、現在も引き続き支援が行われていることをまことに心強く思っております」とのお言葉をいただきました。常陸宮ご夫妻、済生会の総裁であられる寛仁親王殿下、菅首相、衆参議院議長なども出席され挨拶がありましたが、特に衆議院議長はわれわれの病院の理念である「心のこもった医療」について言及されました。当院がつき進めてきた「心のこもった医療」そして救急災害医療が間違っていなかったことを再認識できた式典であったと感激し帰ってきました。

済生会千里病院は医師、看護師をはじめ全職員が「安全で良質な医療を心をこめて提供する」ため、そして地域の医療に貢献することをやりがいとして、日夜頑張っています。

院長 林 亨

当院ご利用案内

診療受付時間

☆月～金曜日 初診 8:30 ～ 11:30 12:30 ～ 14:30
再診 8:30 ～ 11:30 12:30 ～ 14:30

☆土曜日 初診 8:30 ～ 11:30
再診 8:30 ～ 11:30

☆休診日 日、祝、5/30(創立記念日)12/31、1/1、1/2、1/3(年末年始)

☆専門外来 12:30 ～ 14:00（診察日は異なります）
（乳腺外来・大腸肛門外来(予約制)その他、詳しくは外科受付まで）

☆乳児健診 13:00 ～ 13:15（火・木 予約制）

☆予防接種 14:30 ～ 15:00（火・木 予約制）

☆禁煙外来 完全予約制(お問い合わせは内科外来まで)

☆吹田市国保健康診査
完全予約制（毎週土曜日 受付午前9:00 ～ 11:00
第5週目はありません）(お問い合わせは、電話が総合受付まで)

初診の方で紹介状をお持ちでない方には、別途特定療養費として2,100円をいただきます。歯科・口腔外科、耳鼻咽喉科、心療内科、神経内科への受診は、予約の上紹介状が必要となります。

医療相談窓口

患者さんやご家族の方々から下記のような様々なご相談をお受けしています。誰に相談していいかわからないことがあれば、まずは医療相談窓口にご相談ください。

- (1) 医療に関すること
- (2) 当院での受診に関すること
- (3) 病院に対するご意見、ご要望、苦情等に関すること
- (4) 個人情報保護に関すること
- (5) 医療安全に関すること

なお、医療相談窓口でお受けしたご相談内容でご希望があれば、日時を調整の上当院の第三者委員を交えて相談することができます。

大阪府AED・BLS講習会

講習会では、AED（Automated External Defibrillator、自動体外式除細動器）の使用方法和、胸骨圧迫（心臓マッサージ）と人工呼吸からなる基本的な心肺蘇生法（BLS）をマネキン人形を用いた実習を通じて学んでいきます。

【開催場所】済生会千里病院 東館3階
【お問い合わせ先】大阪ライフサポート協会事務局
TEL06-6370-5883（10時～17時）

地域支援センター

福祉相談室・在宅支援室

病気に伴う様々な問題について、専門の医療ソーシャルワーカーが患者さんやご家族からのご相談をお受けしています。

地域医療連絡室

地域の医療機関と患者さんの紹介や逆紹介について連絡調整を密に行います。かかりつけ医についてのご相談もお伺いします。

入退院管理室

安心して入院生活をおくっていただけるよう、入院についてあらゆるご質問にお答えして、患者さんとのコミュニケーションを大切にしております。

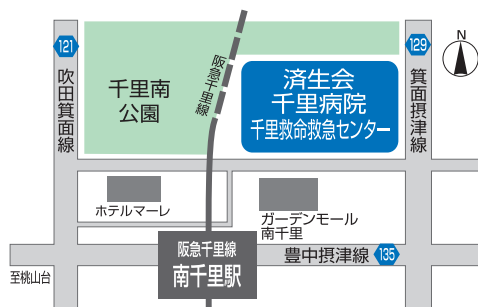


社会福祉法人

恩賜財団 大阪府済生会千里病院

広報誌ホームページ委員会（経営企画室） 発行（年2回／1月1日・7月1日発行）

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号 TEL.06-6871-0121（代）
ホームページ <http://www.senri.saiseikai.or.jp/>



夜尿症について

自分や兄弟のおねしょがいつ頃なくなったか、覚えてますか？ 記憶に残ってなくて、何時の間にか消失したという子供時代を過ごした方は幸せです。そんな方でも、自分がおねしょをした記憶の1回ぐらいは残っているのではないのでしょうか。誰もが通る道である睡眠中の排尿が「おねしょ」から「夜尿」に格上げになり問題とされるのは小学校に上がる頃です。一般的には5歳以降にも持続する夜尿を夜尿症と呼びます。夜尿は5～6歳児の約20%弱に認めます。小学校の1、2年生でも週1、2回程度の夜尿であれば、あと少しで消失する可能性十分です。あたたかく見守りましょう。おねしょ対策の3原則「起こさない」、「怒らない」、「焦らない」の継続です。

しかし、他疾患の一症状として夜尿症がある場合もあります。先天性尿路奇形、糖尿病、ホルモン異常、脊髄疾患、睡眠時無呼吸症候群、てんかん等の基礎疾患が隠れていることがあります。週の半分以上、特に毎晩夜尿してる場合や昼間のおもらし（遺尿）を伴う場合は夜尿の回数が前年に比し減少しているかなど、変化を少し気にかけて見ていきましょう。毎日の夜尿記録も役立ちます。寝る前の水分摂取を控えるなどの生活習慣の改善もしていきましょう。夜尿症のタイプはその原因から大きく夜間尿量増加型、膀胱容量低下型、混合型に分けることができます。治療法には夜間アラームを使用した治療や内服薬、点鼻薬を使用した治療もあります。これらの治療でも直ぐ夜尿が消失する事は少なく、数ヶ月から1年程度かかるのが一般的です。しかし、放置した場合に比べると、消失時期は早まります。多くの夜尿症は放置しても遅くとも思春期頃には自然消失します。でも、できたら、夜尿の悪夢からはやく解放されたいですね。健康成人でも自然消失しないままの0.5%の夜尿症患者が存在するという報告もあります。おねしょ対策の3原則を守りつつ、「改善がない」と感じたら、患児と家族のQOL（生活の質）をよくするためにも、適切な時期に医療機関の扉を叩いてみましょう。

ワンポイントアドバイス

5歳以降にも持続する夜尿を夜尿症と呼びます。
その場合以下のポイントを参考に家庭で対策してみましょう
1. 夜尿症の3原則（「起こさない」、「怒らない」、「焦らない」）を守りながら夜尿記録をつけ、夜尿症の状態を前年度と比較
2. 水分は朝、昼にしっかりとって就寝3時間前から厳しく制限
塩分はとりすぎないように
3. 規則正しい生活リズムを確立（就寝前には必ず排尿）
4. 寒い日は入浴等で体を温めてから就寝
5. 1日1回は我慢尿訓練を実施
以上、これらの対策をしても前年度に比し改善がない時、週の半分以上に夜尿がある時、遺尿がある時には思い切って医療機関に相談してみましょう。

小児科部長より

■医師の紹介

小児科部長
瀬戸 真澄 (せと ますみ)

【プロフィール】

専門分野：一般小児科・腎臓
主な経歴：国立鳥取大学卒業（1986年卒）
大阪市立大学大学院卒業
大阪市立桃山病院感染症センター
大阪市立十三市民病院
大阪市立総合医療センター
所属学会：日本小児科学会小児専門医
日本腎臓学会
日本小児腎臓病学会
小児心身症学会



無料巡回バスを運行しています。

当院を受診される患者さんやお見舞いの方の送迎のため、当院を起点にニュータウンと周辺地域を下記の4コースで運行しています。

- ①東コース：八王子橋→山田西→山田樫切山→七尾西→五月が丘→佐竹台→高野台
- ②西コース：千里桃山台住宅西→新千里南町→ジオ緑地公園→桃山台駅→上新田
- ③南コース：亥の子谷→五月が丘→佐井寺北→竹谷→片山中前→総合運動場前
- ④北コース：古江台→青山台→新千里北町→新千里東町→ふじしろ幼稚園→津雲台

詳細な運行ルート及び時刻等については各コースの運行経路図、運行時刻、予定表は、当院のホームページにてご覧頂けます。

また無料巡回バスの運転手にお尋ね頂ければ、お渡ししております。
ご確認の上、気兼ねなくご利用下さい。



■医療の提供の結果に関する事項（厚生労働省「医療広告ガイドライン」第3.5.(12)）

項 目	単位	H22年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	H23年 3月
新 入 院 患 者 数	人	706	733	817	776	767	727	734	776	807	784	728	832
退 院 患 者 数	人	726	707	832	782	766	729	734	746	896	713	756	807
在 院 患 者 数(24時現在)	人	8,964	9,298	9,033	9,439	8,917	8,643	8,720	9,130	9,346	9,286	8,231	9,215
1日平均在院患者数(※1)	人	323.0	322.7	328.8	329.7	312.4	312.4	305.0	329.2	330.4	322.5	321.0	323.3
平 均 在 院 数(※2)	日	12.3	12.0	10.4	11.9	11.4	11.6	11.6	11.7	10.7	12.3	11.0	11.0

※1～退院患者数+在院患者数(24時現在)を暦日数で割ったもの ※2～在院患者数(24時現在)を(新入院患者数+退院患者数)／2で割ったもの

当院の活動紹介

■肝臓病消化器病教室

- 第53回 平成23年2月28日(月)
「便潜血と大腸ポリープ」
- 第54回 平成23年4月27日(水)
「胃瘻について」

2ヶ月に1回のペースで開催し、毎回当院の医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など専門スタッフがサポートし、肝臓病や消化器病の説明や療養指導などを行っています。

■母親教室

3階デイルームで月2回（第1木・第3土）開催し、助産師が妊娠後半期のマイナートラブルや分娩経過・入院方法について解りやすくお話しております。ご家族様の参加もお待ちしております。ご予約・お問い合わせは産婦人科外来まで。

■看護部に30名が仲間入り

今春も新卒23名を含む30名が大阪府済生会千里病院に入職しました。入職看護職員たちは、4月1日から約1週間の採用時集合研修を受けた後、8部署に配属されました。新卒看護職員たちはその後も毎月末に集合し、来年3月までの1年間に計12回の終日研修を受講します。



看護師になるには、看護大学や看護専門学校で学んだ後、看護師国家試験に合格して看護師免許を取得しなければなりません。看護師は免許取得後も、大切な生命(いのち)をお預かりするために、常に研鑽を積んでいます。

済生会の『済生』とは、“生命(いのち)を救う心”という意味です。

その意を心に刻み、病院全体で、そして看護部全体で、彼らを育てていきますので、地域のみなさまにはどうか温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。



■第43回 登録医会総会並びに学術講演会

- ・日時：平成23年3月19日（土）
- ・場所：千里ライフサイエンスセンター
5階ライフホール



第1部

演題 「インターフェロン治療地域連携パスについて」
講師 済生会千里病院 消化器内科部長 堀本 雅祥

演題 「乳がん術後連携パスについて」
講師 済生会千里病院 乳腺・内分泌外科部長 北條 茂幸

第2部

演題 「肺抗酸菌症の臨床」
講師 独立行政法人国立病院機構 刀根山病院
呼吸器腫瘍内科 内科医長 森 雅秀 先生



■糖尿病教室

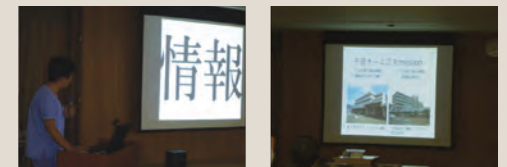
- 平成23年1月17日「糖尿病と心臓病」
「糖尿病と心臓病～日常生活の過ごし方」
- 平成23年2月7日「あなたの体調管理は大丈夫？」
「なぜ低血糖になるのか？」
- 平成23年3月7日「糖尿病のまとめ」
- 平成23年4月4日「糖尿病の薬物療法～あなたの使っているお薬を教えます」
「糖尿病の食事療法～食品交換表を使った、春の献立」
- 平成23年5月2日「糖尿病の合併症について」

■DMAT活動報告

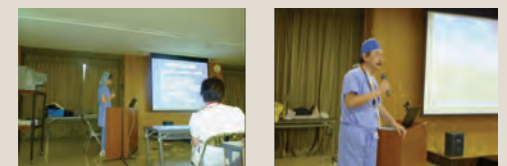
- 日本DMAT・大阪DMAT活動報告
(H23.4月現在、日本DMAT 4チーム・大阪DMAT 4チーム)
＝院外活動＝
- 平成22年12月20日～22日 日本DMAT 広域医療搬送研修参加 国立病院機構災害医療センターにて
- 平成23年2月3日～4日 大阪DMAT 養成研修会参加 大阪赤十字会館にて
- 平成23年2月26日 近畿地方災害医療ロジスティックス研修会 奈良県新公会堂にて
- 平成23年2月27日 日本DMAT 技能維持研修会 奈良県新公会堂にて
- 平成23年2月28日 豊能MC協議会主催第3回災害医療セミナーにて
- 平成23年3月12～15日 東日本大震災 日本DMAT 活動 岩手県内にて



- 平成23年5月22日 近畿地方災害医療ロジスティックス主催東日本大震災報告会 兵庫県災害医療センター＝院内活動＝
- 平成23年5月13日 第1回東日本大震災報告会開催



- 平成23年5月27日 第2回東日本大震災報告会開催



■DMATとは■

災害急性期に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医師、看護師、調整員により構成される災害派遣医療チームです。日本DMATおよび大阪DMATの登録チームを擁しています。